



香ばしい
香り漂う

花 いりで伝統文化を学習

2/15

釈迦が亡くなったとされる15日に西多久町の川打家で「花いり」が行われました。「花いり」は、釜でもち米のモミを炒り、モミがはじけ、花が咲いたかのように白い実が出現。それを仏前に供え、無病息災を祈る伝統行事。社会科の授業で伝統行事や文化を調べていたという、西部小の児童がこの日、花いりを見学を訪れ、拾った枝にはじけたモミを貼り付け、釈迦が亡くなった時に咲いたという「沙羅双樹」の花に見立てて、周りをなごませていました。

グッドチョイス

まちの話題

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116 ㊚75-2110

男女共同参画フォーラム

2/18

中央公民館で男女共同参画フォーラムが行われ、(株)フラウ代表取締役社長の濱砂圭子さんが講演。会場に訪れた方は熱心に聞き入っていました。講演後に行われた座談会では、子どもクラブ連合会会長・子育て支援センター長・子育て中の母親・育児休暇取得経験者がそれぞれの経験談を語りました。子どもクラブ連合会会長の野田さんは、「女性の方は、素晴らしい考えを持っている方が多いので、地域の子どもクラブにも積極的に参加して欲しい」と発言されました。



子育てと
地域づくり

ほほえみと
やすらぎ



土 ひな人形展で春を感じる

2/28

多久町東の原の人形師、倉富博美さんが自宅アトリエ「聖心房人形」で、「創作・土ひな人形展」を開催しました。板状の粘土を丸める手ひねりや、石工で型どりした人形が穏やかな雰囲気です。倉富さんは「多くの方に多久を訪れてもらい、聖廟など、他の場所も見えてほしい」と、地元での開催を続けて今年で13回目となります。絵付けは全て手仕事で行われ、鮮やかな絵柄に春の訪れを感じさせられます。

(3月21日まで、9時～19時)